

## 幸せになるための教育を実現する会議 要旨録

日 時 令和4年6月28日（火）午後3時～午後5時10分  
出席委員 神谷、鈴木、大崎、三浦  
そ の 他 市長、企画部長、学校教育課主任指導主事、企画課長、企画課副主幹

### 【委員認識の共有化 POINT】

- 自分の幸せについて、しっかり考える必要がある。
- 学校教育に、「幸せ」というキーワードを取り入れ、取り組んでいきたい。
- 素直な点など若者に良い点はある。
- 教員の負担軽減と保護者の理解を得ていく必要がある。

### 【決まったこと】

- 教職員に対しアンケートを実施する。
- 講演会を実施する方向で講師と調整を行う。

### 【意見】

- ・少子高齢化社会において、これまでの経験では対応しきれないことも多いため、よく考えることが重要（委員長）
- ・将来が非常に心配、危機感がある。（委員）
- ・重要な価値観はお金から幸せに変化してきている。（委員）
- ・「幸せ」という価値基準を教育に取り入れたい。（市長）
- ・学校教育にはコーチング、対話や体験がもっと必要である。（委員）
- ・素直な点やお年寄りに優しい点、環境配慮への関心の高さなど、若者にも長所が多くある。（委員）
- ・学校の取組が家庭で否定されることがないように考える必要がある。（委員）
- ・学校の授業、取組を否定するものではないが、幸せを実現する会議で取り組みたいことは、単なる道徳授業の延長線上にあるものではない。（市長）